

平成30年度 内部地区総合防災訓練 写真集

11月25日に実施された総合防災訓練、本部・各避難所での写真です。



本部立ち上げ



本部情報受付



避難所立上解説



出前講座



手話通訳



情報集計表



AED操作



傷害手当



担架搬送と段ボールベット



炊き出し



発電機稼働



浄水装置稼働



新聞スリッパ



非常持ち出し品



防災倉庫見学

内部地区総合防災訓練

緊急避難所含む 避難者総数1946人

員一は黄
は般避
色難者
ヘルメ
ットの
識別の
ため、
役

ま取バま
しりしし
た組にた
。みよ。炊
。みるみ
「減しな
「家庭支
のにおネ
の講ける
減る減
り災

操作、
作、炊
した、
にた、
よみき
。みるみ
「減しな
「家庭支
のにおネ
の講ける
減る減
り災

たは急難は
。千九避所
百四十六
十六人、
避難者
として
総数

たは急難は
。千九避所
百四十六
十六人、
避難者
として
総数

たは急難は
。千九避所
百四十六
十六人、
避難者
として
総数

自主防 うっべ

第27号

形合けも練実訓
骸のなしの際練
化衆いれよに
しかなう災行
は訓いに害う
情な練がスが
処な学何ここ
理いんをズっ
をだでしにた
行ろいな行時
ううるけかに
よ。のれなは
う「でばい、
な「烏いか訓

避難者内訳表(人)

学校区域	内部小	内部東小	内部中	合計
①緊急避難所	34	1222	238	1494
②指定避難所	170	122	133	425
③中学生	8	9	10	27
避難者の合計	212	1353	381	1946
(内数)要援護登録者	4	32	5	41

「自分の命は自分で守る。みんなで守る。」

書き込み・ぬりえ式 我が家の防災マップを完成させてください。

てに近かまさ
く強所？ちせ
さい地土域再
い城〜コ見で
。防活ユ、マ
力性ニ課自
に化テ題分
役、イはたを
立災(何ち完
て害隣 の成

ケ(抜ト)を裏面に載せました。の項

だ情報があ
など感想が
「訓練後に
を裏面に載
せました。の
項

総合防災訓練(平成30年11月25日実施)アンケート「来年度へ向けて」抜粋

対策本部	内部小学校	内部東小学校	内部中学校
<ul style="list-style-type: none"> ・初の本部訓練に参加し参考になった。 ・緊張感をもって対応した。一層精度を上げ備えたい。 ・初訓練で不明があった。継続参加、毎年同じリーダーで精度が上がると思う。 ・任期に対して訓練日が遅い。 ・開催は4月が良い。 ・本部と避難所の時刻を同一にするとか、シナリオ見直し必要。 ・火事の想定がない。 ・橋が落ちてしまった場合、自転車連絡等対応検討する。 ・ボランティア要請がなかった。訓練アイテムとして実施する。 ・ボランティア対応、模擬体験訓練必要 ・本部員の人数が、避難所班員と比較して多い。 ・警察の役割は大きいので訓練参加案内必要。 ・本部内で担当以外に情報が届かず、全体がどのような状況かわからない。 ・訓練時に、救援物資現場確認項目を設定してはどうか。 ・パソコンでは停電時、情報収集ができないので、スマートホンの方が良い。 ・通報用紙の内容を確認し処理する。 ・トランシーバ会話の訓練必要。 ・無線が聞き取りにくい。操作会話のやり方等事前練習が必要。 ・浄水器担当は避難所班員でも説明可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区リーダーの防災意識の向上大切 ・避難所班員の欠員は事前連絡必要。 ・簡易スリッパの作り方は皆に教えたらい。 ・車椅子等の扱い方を教えてほしい。 ・出前講座の避難所で想定される問題はよかった。 ・主催者の挨拶等は、制限した方が良い。全員冷たい床に座っている。 ・話が長く、お尻が痛いとの声が聞こえてきた。 ・これからも続けていくことが大事。 ・シナリオのp10で実施されない箇所があり、流れが分からなかった。 ・シナリオをもっと詳しくしてほしい。 ・事前確認をすることが必要。 ・体験訓練を主にした方が良い。 ・台風などの訓練が必要。 ・講座での問題の答えがない。 ・手順マニュアル作成と見直し周知。 ・意味ある行動や話を希望する。 ・寒いのでドアを閉鎖する。 ・浄水装置の増設。 ・水害訓練の実施を希望する。 ・地域単位での防災訓練を行う。 ・個々の防災意識を高める。 ・話は寒い中、手短にする。 ・避難者名簿を書く意味が分からない。(住所・氏名) ・班員もヘルメット着用を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数に隔たりがあり、人数把握は一本化した方が良い。 ・準備・リハーサルは全員参加する。 ・シナリオ進行は全内容を消化すること ・指定避難所の数字は実訓練参加者数とする。 ・混乱多く良い経験になった。 ・女性リーダー、補佐役を多くの人が体験できるようにしてほしい。 ・各自治会の報告がまちまちで防災意識の格差がありすぎる。 ・今年の出前講座は聞こえという気になりました。 ・女性リーダー、補佐の役割を他地区の方にも考えてください。 ・プロジェクター画面小さく、後方は見えなかった。 ・非常に聞き取りづらい音質のマイクだった。 ・リーダーの説明・出前講座、長く寒い中大変な我慢であった。 ・寒い時期、自己紹介等効率的に行う。 ・無線の混戦があり返答のタイミングが分かりづらい。 ・実際の業務とシナリオに書かれていたことが違う。修正必要。 ・寒いので時期をずらしてはどうか？(寒いなりの訓練であれば別) ・住民自主参加の工夫が必要。 ・障害者の対応をどうするか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・通報用紙の記入方法が徹底されていなかった。 ・段ボールベットに追加して間仕切り壁の展示があるとよかった。 ・話より非常食づくり等、体験型訓練を増やした方が良い。 ・訓練の始めの方は何をしているのか、わからなかった。 ・地域を広げて防災訓練を行う必要性を感じる。様々な訓練を続けてほしい。 ・防災グッズの体験時間があってもよいのではないかと見ているだけではよくわからない。 ・班の仕事を具体的にしてほしい。ウロウロするだけだった。 ・各町ごとの参加人員のバラツキが多い。一般住民にも声かけが必要。 ・通報用紙の書き方が難しい。 ・訓練時の緊急連絡方法を考えておく必要がある。 ・中学生の参加訓練を増やしてゆくべきだと思う。 ・多くの人に参加してもらいべきです。 ・参加者への事前概要連絡をする。 ・組織等は書類で説明する。 ・各家庭に水・食料備蓄のPRを行う。 ・河川の防水対策必要。 ・11月は寒いので防寒対策を参加者に伝える。 ・新聞紙スリッパを推進する。
中学生アンケート 避難者でなく各班員として参加協力について			
<ul style="list-style-type: none"> ・人の為に何かをする。やりがいを感じるから。 ・自分が分かっていると、いざという時に大変だから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困っている人に何かしてあげたい。 ・避難について詳しくなり協力したい。 ・機会があれば参加する。 ・少し自信がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防士になりたいから。 ・自分のできることをしたい。 ・もしもの為に知っておきたいから。 ・楽しく、珍しい体験ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部の人達を救いたいから。 ・誰かの役に立ちたい。 ・他人の為になることができると分かった。